

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公表番号】特表2008-501701(P2008-501701A)

【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-515574(P2007-515574)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 49/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 H

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 49/04 A

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月28日(2008.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

新生物特異的な様式で脈管内皮へ、脈管内皮中に、および／または脈管内皮を横切って送達する方法に使用するための医薬の製造における、アネキシンA1に特異的に結合する薬剤；アネキシンA1の誘導体に特異的に結合する薬剤；アネキシンA1の特異的結合パートナーに特異的に結合する薬剤；アネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに特異的に結合する薬剤；アネキシンA1；およびアネキシンA1の誘導体からなる群より選択される薬剤の使用。

【請求項 2】

アネキシンA1治療剤を含む、生理的組成物。

【請求項 3】

個体の身体的画像化を行うための医薬の製造における、アネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用。

【請求項 4】

個体の身体的画像化を行うための医薬の製造における、アネキシンA1の特異的結合パ-

トナーまたはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに結合する標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用。

【請求項 5】

個体の身体的画像化を行うための医薬の製造における、アネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の特異的結合パートナー、およびアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーからなる群より選択される標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用。

【請求項 6】

画像化剤成分が放射性剤、放射性同位体または放射性医薬品；造影剤；磁気剤または常磁性剤；リポソーム；超音波剤；ナノ粒子；検出剤を誘導する遺伝子ベクターまたはウイルス；酵素；補欠分子族；蛍光物質；発光物質；および生物発光物質からなる群より選択される、請求項 3、4 または 5 記載の使用。

【請求項 7】

新生物の有無について個体を評価するための医薬の製造における、アネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用であって、画像化剤の凝集の存在は新生物の存在を示す、使用。

【請求項 8】

標的化剤成分がアネキシンA1；アネキシンA1の誘導体；アネキシンA1に対する抗体；およびアネキシンA1の誘導体に対する抗体からなる群より選択される、請求項 7 記載の使用。

【請求項 9】

新生物の有無について個体を評価するための医薬の製造における、アネキシンA1の特異的結合パートナーまたはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに結合する標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用であって、画像化剤の凝集の存在は新生物の存在を示す、使用。

【請求項 10】

新生物の有無について個体を評価するための医薬の製造における、アネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の結合パートナー、およびアネキシンA1の誘導体の結合パートナーからなる群より選択される標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用であって、画像化剤の凝集の存在は新生物の存在を示す、使用。

【請求項 11】

新生物特異的な様式で送達する方法に使用するための医薬の製造における、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤の使用であって、該標的化剤成分がアネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の結合パートナー、および / またはアネキシンA1の結合パートナーの誘導体に特異的に結合する、使用。

【請求項 12】

新生物特異的な様式で送達する方法に使用するための医薬の製造における、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤の使用であって、該標的化剤成分がアネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の結合パートナー、および / またはアネキシンA1の結合パートナーの誘導体を含む、使用。

【請求項 13】

組織試料を、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤と接触させることを含み、該標的化剤成分がアネキシンA1、またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する、新生物特異的な様式で画像化剤を組織試料へ送達する方法。

【請求項 14】

標的化剤成分がアネキシンA1；アネキシンA1の誘導体；アネキシンA1に対する抗体；およびアネキシンA1の誘導体に対する抗体からなる群より選択される、請求項 13 記載の方法。

【請求項 15】

組織試料を、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤と接触させることを含み

、該標的化剤成分がアネキシンA1の特異的結合パートナー、またはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに結合する、新生物特異的な様式で画像化剤を組織試料へ送達する方法。

【請求項 16】

組織試料を、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤と接触させることを含み、該標的化剤成分がアネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の特異的結合パートナー；およびアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーからなる群より選択される、新生物特異的な様式で画像化剤を組織試料へ送達する方法。

【請求項 17】

a) アネキシンA1またはアネキシンA1誘導体を、試験される薬剤と接触させること、
b) アネキシンA1またはアネキシンA1誘導体の活性レベルを評価すること、および
c) 活性レベルを、薬剤の非存在下におけるアネキシンA1またはアネキシンA1誘導体の活性レベルと比較すること
を含み、ここで薬剤の存在下におけるアネキシンA1またはアネキシンA1誘導体の活性レベルが、統計的に有意な量で、薬剤の非存在下におけるアネキシンA1またはアネキシンA1誘導体の活性レベルと異なる場合、該薬剤はアネキシンA1またはアネキシンA1誘導体の活性を変える薬剤である、アネキシンA1またはアネキシンA1誘導体の活性を変える薬剤の同定方法。

【請求項 18】

請求項 17 記載の方法で同定可能である、アネキシンA1またはアネキシンA1誘導体の活性を変える薬剤。

【請求項 19】

新生脈管構造特異的な様式で脈管内皮へ、脈管内皮中に、および / または脈管内皮を横切って送達する方法に使用するための医薬の製造における、アネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する薬剤の使用。

【請求項 20】

個体における新生物、新脈管形成または新生脈管構造の処置方法に用いられるアネキシンA1治療剤。

【請求項 21】

アネキシンA1に対する抗体、またはアネキシンA1の誘導体に対する抗体である、請求項 20 記載のアネキシンA1治療剤。

【請求項 22】

アネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体である、請求項 20 記載のアネキシンA1治療剤。

【請求項 23】

アネキシンA1受容体またはアネキシンA1結合パートナーである、請求項 20 記載のアネキシンA1治療剤。

【請求項 24】

アネキシンA1治療剤が活性剤成分および標的化剤成分を含む薬剤であり、該活性剤成分が、放射性核種；化学療法薬；免疫刺激剤；抗新生物剤；抗炎症剤；炎症誘発剤；アポトーシス促進剤；凝血原；毒素；抗生剤；ホルモン；酵素；タンパク質（例えば、組み換えタンパク質または組み換え修飾タンパク質）；担体タンパク質（例えば、アルブミン、修飾アルブミン）；細胞溶解剤；小分子；アプタマー；修飾細胞を含む細胞；ワクチン誘導性または他の免疫細胞；ナノ粒子（例えば、アルブミンベースのナノ粒子）；トランスフェリン；免疫グロブリン；多価抗体；脂質；リボタンパク質；リボソーム；改変天然リガンド；遺伝子または核酸；RNA；siRNA；ウイルスまたは非ウイルス遺伝子送達ベクター；プロドラッグ；およびプロ分子からなる群より選択される、請求項 20 記載のアネキシンA1治療剤。

【請求項 25】

標的化剤成分がアネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する薬剤であ

る、請求項 2 4 記載の アネキシンA1治療剤。

【請求項 2 6】

標的化剤成分がアネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に対する抗体である、請求項 2 4 記載の アネキシンA1治療剤。

【請求項 2 7】

標的化剤成分がアネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体である、請求項 2 4 記載の アネキシンA1治療剤。

【請求項 2 8】

標的化剤成分がアネキシンA1の特異的結合パートナー、またはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーである、請求項 2 4 記載の アネキシンA1治療剤。

【請求項 2 9】

標的化剤成分がアネキシンA1の特異的結合パートナー、またはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに結合する薬剤である、請求項 2 4 記載の アネキシンA1治療剤。

【請求項 3 0】

新脈管形成または新生脈管構造の有無について個体を評価するための医薬の製造における、アネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用であって、画像化剤の凝集の存在は新脈管形成または新生脈管構造の存在を示す、使用。

【請求項 3 1】

標的化剤成分がアネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に対する抗体である、請求項 3 0 記載の 使用。

【請求項 3 2】

新脈管形成または新生脈管構造の有無について個体を評価するための医薬の製造における、アネキシンA1の特異的結合パートナーまたはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに結合する標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用であって、画像化剤の凝集の存在は新脈管形成または新生脈管構造の存在を示す、使用。

【請求項 3 3】

新脈管形成または新生脈管構造の有無について個体を評価するための医薬の製造における、アネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の結合パートナー、およびアネキシンA1の誘導体の結合パートナーからなる群より選択される標的化剤成分、および画像化剤成分を含む画像化剤の使用であって、画像化剤の凝集の存在は新脈管形成または新生脈管構造の存在を示す、使用。

【請求項 3 4】

新生脈管構造特異的な様式で送達する方法に使用するための医薬の製造における、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤の使用であって、該標的化剤成分がアネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の結合パートナー、および/またはアネキシンA1の結合パートナーの誘導体に特異的に結合する、使用。

【請求項 3 5】

新生脈管構造特異的な様式で送達する方法に使用するための医薬の製造における、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤の使用であって、該標的化剤成分がアネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の結合パートナー、および/またはアネキシンA1の結合パートナーの誘導体を含む、使用。

【請求項 3 6】

組織試料を、画像化剤成分および標的化剤成分を含む 画像化剤 と接触させることを含み、該標的化剤成分がアネキシンA1、またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する、新生脈管構造特異的な様式で画像化剤を組織試料へ送達する方法。

【請求項 3 7】

標的化剤成分がアネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に対する抗体である、請求項 3 6 記載の方法。

【請求項 3 8】

組織試料を、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤と接触させることを含み、該標的化剤成分がアネキシンA1の特異的結合パートナー、またはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに結合する、新生脈管構造特異的な様式で画像化剤を組織試料へ送達する方法。

【請求項 39】

組織試料を、画像化剤成分および標的化剤成分を含む画像化剤と接触させることを含み、該標的化剤成分がアネキシンA1、アネキシンA1の誘導体、アネキシンA1の特異的結合パートナー；およびアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーからなる群より選択される、新生脈管構造特異的な様式で画像化剤を組織試料へ送達する方法。

【請求項 40】

個体における新生脈管構造を増大させる方法に使用されるアネキシンA1新生脈管構造剤。

【請求項 41】

活性剤成分および標的化剤成分を含む薬剤であり、該標的化剤成分がアネキシンA1、またはアネキシンA1の誘導体に特異的に結合する薬剤である、請求項 40 記載のアネキシンA1新生脈管構造剤。

【請求項 42】

標的化剤成分がアネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体に対する抗体である、請求項 41 記載のアネキシンA1新生脈管構造剤。

【請求項 43】

標的化剤成分がアネキシンA1またはアネキシンA1の誘導体である、請求項 41 記載のアネキシンA1新生脈管構造剤。

【請求項 44】

標的化剤成分がアネキシンA1の特異的結合パートナーまたはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーである、請求項 41 記載のアネキシンA1新生脈管構造剤。

【請求項 45】

標的化剤成分がアネキシンA1の特異的結合パートナーまたはアネキシンA1の誘導体の特異的結合パートナーに結合する薬剤である、請求項 41 記載のアネキシンA1新生脈管構造剤。

【請求項 46】

アネキシンA1に対して免疫応答が生じる、個体における新生物の処置方法に使用される、アネキシンA1を含むアネキシンA1治療剤。

【請求項 47】

さらに修飾細胞を含む、請求項 46 記載のアネキシンA1治療剤。